

委員会からの調査報告

再編により2常任委員会になって初めての委員会で、それぞれ調査研究テーマを決定。第1回委員会のあと、視察が行われました。

よりよい寄居町のためにどうしていくか…議員の調査・研究が続きます。

総務経済常任委員会

町に合った公共交通を1日も早く

7月15日・第1回委員会を開催

全国のデマンド公共交通サービスの資料をもとに、委員の意見を聞き、「町内の公共交通と福祉関係の移送サービスの現状把握が必要」「町内業者の経営圧迫にならないような運営を」等の意見・要望があり、次回は北本市や鳩山町を視察することを決定しました。

8月18日・北本市・鳩山町を視察

担当課長より、県北都市間路線バス及び東秩父村営バスの運営状況の説明を受け、「路線バスの便数」「ふれあいサービス事業の車両購入」「東秩父村営バスの運営状況」等の質疑がありました。

視察した北本市では、21年度から3カ月間のテスト



運行を経て、22年度から市内全域を対象に、デマンドバス（委託バス会社所有の大型ワゴン車2台）の実証運行を実施。課題は乗り合い率が低いこと、経費の軽減等が挙げられていました。鳩山町は21年度のテスト運行を経て、22年度からデマンドタクシーの実証運行を行っています。町内全域と、町外へは埼玉医大のみ運行。予約・運行システムのための手間と経費がかかることが課題とのことです。

今回の視察自治体はタクシー会社がないか、1社しかないなど、早期実施できる要因があったことから、次回は寄居町と類似した状況で事業の取り組みをしている先進地を視察することを決定しました。

文教厚生常任委員会

町に見合う規模の施設の調査、研究を推進

7月12日・第1回委員会を開催

「障害者ボランティアの活動状況」「障害者団体、町外の人が施設を利用する場合にどうするか」また「町としてどのような施設が必要なのか検討する必要がある」等の意見が出されました。これを受けて、熊谷市と本庄市の施設を視察することを決定しました。

8月25日・熊谷市・障害福祉社会館

本庄市・障害福祉センターを視察

熊谷市の障害福祉社会館は、心身障害者の福祉の増進及び自立の促進を図ることを目的に昭和51年



に建築された施設です。利用団体は障害者関係団体のほか、地元の自治会や長寿会、また市役所内各課も利用しているとのことでした。本庄市の障害福祉センターは、在宅で生活している障害者を対象に、児玉郡市の委託により、障害者相談支援事業、障害者就労支援事業等を行い、各事業は委託事業者が実施しています。ともに施設の老朽化が今後の課題とのことでした。

今回の委員会では、最近建築された施設で寄居町に見合う規模のものを視察することを決定しました。

裏表紙もぜひご覧ください。「よりのえがお」がこぼれています。